

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	職員の慢性的な配置不足により業務優先になっている状況の中で、外出支援を職員の意識の中にどのように取り入れていくのか。	二階と三階フロアと協力して午前か午後にとりずつからの散歩に出る。 誕生日には外食にでかける。	日常の業務の中に外出する時間を決めておく。 誕生日には隣接しているレストランに出掛ける。 新聞を取りに行く、ごみを出しに行く時等も利用者様と一緒にいく。	3ヶ月
2	35	夜間火災想定において火災初期における夜勤職員一人での消防訓練を行っていない。 職員の召集訓練を行っていない。	年2回の消防訓練時に、職員一人での避難訓練を行う。 召集がかかってから施設到着の実際の時間を把握しておく。 近隣との関係を密にしておく。	5月の消防訓練において職員一人での避難訓練を行う。 夜間において職員の自宅より施設までの時間を計り全職員が把握する。 町内会の催しもの(夏祭り・防災訓練)等に参加する。	6ヶ月
3	4	ご家族様も含め、出席者がほとんど同じであるし、内容に関しても毎回同じような流れで終わってしまう。	訪問看護師や訪問歯科等専門職や近隣のコミュニティセンターの職員等外部からの参加者を増やしていき、会議の内容に変化を持たせる。	訪問看護師、訪問歯科医、提携をしている薬局に参加をお願いし、利用者様に携わっている専門的な立場からの意見を頂く。 昼食会を兼ねて開き、親密度を深める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。